

東芝デジタル複合機

# インストールガイド

---

**e-STUDIO2309A**



# はじめに

---


このたびは東芝デジタル複合機をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。この取扱説明書は、クライアントソフトウェアのインストール方法について説明しています。ご使用前に本書をよくお読みください。また、本機の機能を最良の状態でお使いいただくために、この取扱説明書をいつもお手元に置いて有効にご活用ください。


## ■ 本書の読みかた

### □ 本文中の記号について

本機を正しく安全にご使用いただくために、本書には、以下に示されている3つのレベルに従って安全上のご注意が記載されています。

本書をお読みになる前に、これらの事柄の意味と重要性を完全に理解してください。

 **警告** 「誤った取り扱いをすると人が死亡する、または重傷\*1を負う可能性があること」を示しています。

 **注意** 「誤った取り扱いをすると人が傷害\*2を負う可能性、または物的損害\*3のみが発生する可能性があること」を示しています。

**注意** 操作するうえでご注意いただきたい事柄を示しています。

\*1 重傷とは、失明やけが・やけど（高温・低温）・感電・骨折・中毒などで、後遺症が残るものおよび治療に入院・長期の通院を要するものを指します。

\*2 傷害とは、治療に入院や長期の通院を要さない、けが・やけど・感電を指します。

\*3 物的損害とは、財産・資材の破損にかかわる拡大損害を指します。

また本書では、上記以外に、本機の操作に役に立つ情報を次の記号で説明しています。

**補足** 操作の参考となる事柄や、知っておいていただきたいことを示しています。

 関連事項を説明しているページを示しています。必要に応じて参照してください。

### □ 画面と操作手順の説明について

本書では、Windowsでの画面および操作手順は、Windows 7を例に説明しています。

オプション機器の装着状況、お使いのOSのバージョンやアプリケーションによっては、表示される画面が異なることがあります。

### □ 商標について

商標については安全にお使いいただくためにをご覧ください。

# エンドユーザソフトウェア使用許諾契約書

---

本ソフトウェアサプライヤーが別途提供する使用許諾契約書が適用される場合を除き、お客様は本ソフトウェアのインストールまたは使用の開始をもって、以下の契約条件に同意したとみなされます。本契約条項に同意できない場合、本ソフトウェアのインストールおよび使用はできませんので、速やかにお客様ご自身で本ソフトウェアを取得した場所にご返送ください。

## 使用許諾：

本契約は、エンドユーザ（以下「お客様」という）と東芝テック株式会社（以下「東芝テック」という）の間で締結する、法的効力を有する契約です。

本ソフトウェアならびにフォント（およびそのタイプフェイスを含む）、および関連するドキュメンテーション（以下「ソフトウェア」という）は、本ソフトウェアがインストールされた東芝テック製複合機と所定の機器（以下「システム」という）において、本契約条件に従って使用許諾されます。本ソフトウェアの著作権をはじめとするいかなる知的財産権、およびその他の権利ならびに所有権は東芝テックおよび／またはサプライヤーに帰属し、また所有されるものとします。東芝テックは本ソフトウェアのインストールおよび／または使用、ならびに本ソフトウェアを使用して得られる結果に対し責任を負いません。本ソフトウェアは単一のシステム上に単一の複製物をインストールして使用できるものとし、単一のシステム上で本ソフトウェアを使用する必要がある場合を除き、いかなる理由であっても本ソフトウェアを複製することはできません。いかなる本ソフトウェアの複製も本契約条件に従わなければなりません。お客様が本ソフトウェアの修正、適合、統合、翻訳、逆コンパイル、逆アセンブル、リバースエンジニアリングを行うことはもちろん、第三者にこれらの行為を許諾することはできません。お客様が本契約条件に従わない場合、本ソフトウェアを使用することはできません。本ソフトウェアに関する知的財産権およびその他の権利はお客様には移転譲渡されないものとし、これら権利の所有権はすべて東芝テックおよび／またはサプライヤーが保持するものとします。本ソフトウェアのソースコードの使用はお客様に許諾されないものとし、お客様は本ソフトウェア（その複製を含む）の著作権表示に対し、修正、削除等を行うことができません。本ソフトウェアの著作権侵害、無許諾での移転譲渡、複製または使用に関するいかなる法的責任は、お客様に属するものとします。

## 期限：

本契約は、東芝テックにより任意に終了されるか、お客様による本契約条件の違反により終了されるまで、法的効力を有するものとします。本契約終了の場合、お客様には本ソフトウェアのすべての複製物を破棄していただきます。お客様は本ソフトウェアおよびそのすべての複製物を破棄することにより、随時、本契約を終了することができます。

## 免責事項：

本ソフトウェアは、商品市場性、特定目的との適合性、権利、権利の非侵害を含む（ただし必ずしもこれらに限定されない）いかなる明示または黙示の保証をせず、現状のまま提供するものとします。東芝テックは、本ソフトウェアの品質および性能に関する保証に対し、いかなる責任も負いません。本ソフトウェアに欠陥がある場合、その修理、修正およびサービスにかかる費用はすべてお客様の負担とし、東芝テックは責任を負いません。東芝テックは、本ソフトウェアの機能がお客様の要求を満たすこと、またはソフトウェアの動作に中断、エラーが起こらないことを保証しません。

## アップデートおよび製造中止：

東芝テックはなんら制限を受けることなく、本ソフトウェアをアップデート、アップグレードし、またはその製造を中止することができます。

## 第三者ソフトウェア：

本ソフトウェア（将来のアップデート版、アップグレード版も含む）には第三者ソフトウェアが含まれる場合があります。このような第三者ソフトウェアは、そのサプライヤーが、使用許諾契約またはreadmeファイル（またはreadmeファイルに類するファイル）に別途定める、本契約とは異なる条件（「別途契約」等）により提供されます。お客様が第三者ソフトウェアを使用する際は、「別途契約」等に定められた条件に従うものとし、第三者ソフトウェアの条件以外は、本契約に定められた条件に従うものとします。

## 責任制限：

たとえ東芝テックおよびそのサプライヤーが次のような損害の可能性を示唆されていたとしても、東芝テックは本契約の記述あるいは不法行為の有無を問わず（東芝テックの過失による人身傷害または死亡を除き）、本ソフトウェアの使用または使用不能から発生する利益損失、データ損失、資産損失、あるいはその他の偶発的、特別的または間接的損害を含むいかなる損害に対しても、お客様および第三者に対し一切の責任を有さないものとします。

---

### 一般事項：

お客様は本ソフトウェアもしくはその使用权をサブライセンス、リース、貸与、付与譲渡または移転できないものとします。本契約に基づきいかなる権利、責務または義務に対するサブライセンス、リース、貸与、付与譲渡または移転の試みは、すべて無効とします。日本政府、米国政府および関連国政府が禁止する国または目的地への、お客様による本ソフトウェア（本ソフトウェアの複製、本ソフトウェアまたはそのメディアに含まれる技術情報、その他の関連する直接的製品を含む）の直接的または間接的出荷、送信、輸出または再輸出は、その試みを含め、許諾されないものとします。本契約は日本国の法律に準拠するものとし、また本契約に関して東芝テックのサプライヤーが関与する紛争が生じた場合は、その時々当該サプライヤーが指定する国の法律が適用されるものとします。本契約の一部の条項が違法、無効あるいは法的強制力なしとみなされた場合でも、その他の条項はすべて効力を維持し有効であるものとします。

お客様は本契約をお読みになり、上記の条件を理解し、同意するものとします。お客様は本契約条件に従うことに同意するものとします。さらに本契約は、お客様と東芝テックおよびそのサプライヤーとの間で締結する唯一完全な契約であり、かつ本契約の主題に関するいかなる提案、事前契約、口頭または書面その他の伝達事項より優先されることに同意したものとします。

契約者および製造元：〒141-8562 東京都品川区大崎1-11-1 東芝テック株式会社



# 目次

---

はじめに.....	1
エンドユーザソフトウェア使用許諾契約書.....	2
<b>第1章 インストールの前に</b>	
<hr/>	
<b>Windowsでインストールする前に.....</b>	<b>8</b>
Client Utilities/User Documentation DVDに含まれているソフトウェア.....	8
システム要件.....	8
<b>Mac OS Xでインストールする前に.....</b>	<b>9</b>
PPDファイルについて.....	9
システム要件.....	9
<b>UNIX/Linuxでインストールする前に.....</b>	<b>10</b>
CUPSについて.....	10
システム要件.....	10
<b>接続環境.....</b>	<b>11</b>
USB接続.....	11
ネットワーク接続.....	11
<b>第2章 Windowsでのインストール</b>	
<hr/>	
<b>Windowsにドライバをインストールする.....</b>	<b>14</b>
インストーラを使ってドライバをインストールする.....	14
プラグアンドプレイを使ってドライバをインストールする.....	17
<b>Windowsからドライバをアンインストールする.....</b>	<b>20</b>
プリンタドライバ・スキャナドライバをアンインストールする.....	20
e-STUDIO Scan Editorをアンインストールする.....	21
N/W-Faxドライバをアンインストールする.....	24
<b>第3章 Mac OS Xでのインストール</b>	
<hr/>	
<b>Mac OS Xにプリンタをインストールする.....</b>	<b>26</b>
PPDファイルをインストールする.....	26
プリンタを設定する.....	29
<b>Mac OS Xからプリンタをアンインストールする.....</b>	<b>35</b>
<b>第4章 UNIX/Linuxでのインストール</b>	
<hr/>	
<b>CUPSでプリンタを設定する.....</b>	<b>38</b>
LPR印刷を設定する.....	38
IPP印刷を設定する.....	39
USB印刷を設定する.....	40
印刷オプションを設定する.....	41
<b>UNIX/Linuxからプリンタをアンインストールする.....</b>	<b>43</b>
<b>索引.....</b>	<b>45</b>





# インストールの前に

インストールを始める前に、お使いのOSに応じて以下の説明をお読みください。

<b>Windowsでインストールする前に</b> .....	<b>8</b>
Client Utilities/User Documentation DVDに含まれているソフトウェア .....	8
システム要件 .....	8
<b>Mac OS Xでインストールする前に</b> .....	<b>9</b>
PPDファイルについて .....	9
システム要件 .....	9
<b>UNIX/Linuxでインストールする前に</b> .....	<b>10</b>
CUPSについて .....	10
システム要件 .....	10
<b>接続環境</b> .....	<b>11</b>
USB接続 .....	11
ネットワーク接続 .....	11

## Windowsでインストールする前に

---

Windowsで本機をお使いいただくには、以下の説明をお読みください。

- 📖 P.8 「Client Utilities/User Documentation DVDに含まれているソフトウェア」
- 📖 P.8 「システム要件」
- 📖 P.11 「接続環境」
- 📖 P.14 「Windowsにドライバをインストールする」

### ■ Client Utilities/User Documentation DVDに含まれているソフトウェア

- **プリンタドライバ**

Windowsコンピュータと本機を接続して、プリンタとして使えるようにします。

- PCL6ドライバ：お使いのアプリケーションの用途に合わせ幅広くお使いいただけます。
- PS3プリンタドライバ\*：DTPに用いるようなPostScriptに準拠したアプリケーションからの印刷に適しています。
- XPSプリンタドライバ：WPF（Windows Presentation Foundation）アプリケーションから印刷を行う場合に使用します。
  - \* PS3プリンタドライバを使用するためにはPostScriptキットが必要です。

- **スキャナドライバ**

Windowsコンピュータから本機にセットした原稿をスキャンして、TWAIN対応アプリケーションに画像を送信できます。

- **e-STUDIO Scan Editor**

Windowsコンピュータから本機にセットした原稿をスキャンしたり、スキャンした画像を簡単に編集できます。

- **N/W-Faxドライバ**

N/W-Faxドライバを使用すると、お使いのWindowsコンピュータから任意の宛先へ文書をファクス送信することができます。

### ■ システム要件

- **CPU**

最低1 GHz（1 GHz以上推奨）

- **メモリ**

32ビットプロセッサ

- 1 GB（2 GB推奨）

64ビットプロセッサ

- 2 GB（4 GB推奨）

- **インターフェイス**

USB 2.0（高速）

- **OS**

Windows Vista SP2

Windows 7 SP1

Windows 8.1

Windows 10

Windows Server 2008 SP2

Windows Server 2008 R2 SP1

Windows Server 2012

Windows Server 2012 R2

Windows Server 2016

## Mac OS Xでインストールする前に

Mac OS Xで本機をお使いいただくには、以下の説明をお読みください。

- 📖 P.9 「PPDファイルについて」
- 📖 P.9 「システム要件」
- 📖 P.11 「接続環境」
- 📖 P.26 「Mac OS Xにプリンタをインストールする」

### ■ PPDファイルについて

本機から印刷するには、本機専用のPPDファイル（PostScript Printer Descriptionファイル/PostScriptプリンタ記述ファイル）をMac OS Xにインストールします。このファイルには、本機が提供する固有機能の情報が記述されています。

### ■ システム要件

Mac OS XにPPDファイルをインストールして本機で印刷するには、下記環境が必要です。

- **CPU**  
最低1 GHz（1 GHz以上推奨）
- **メモリ**  
32ビットプロセッサ  
- 2 GB  
64ビットプロセッサ  
- 2 GB（4 GB推奨）
- **ディスプレイ解像度**  
1024×768ドット以上
- **OS**  
Mac OS X 10.6.x～Mac OS X 10.12.x
- **プロトコル**  
TCP/IP

## UNIX/Linuxでインストールする前に

---

UNIX/Linuxで本機をお使いいただくには、以下の説明をお読みください。

📖 P.10 「CUPSについて」

📖 P.10 「システム要件」

📖 P.11 「接続環境」

📖 P.38 「CUPSでプリンタを設定する」

### ■ CUPSについて

CUPSを使用してUNIX/Linuxワークステーションに印刷システム（LPR印刷またはIPP印刷）をセットアップします。本書ではCUPS v1.2.4の環境の場合を例に、本機のCUPSプリンタドライバをインストールする方法を説明します。異なるバージョンをお使いの場合は、説明と画面が異なる場合があります。なお、実際にはプリンタドライバではなくPPDファイルを使用して印刷をセットアップします。

### ■ システム要件

#### 動作環境

本機は以下のUNIX/Linux環境をサポートしています。

OS:

Redhat Enterprise 5.10.x, 6.5.x

Fedora Ver.19

Open SuSE Ver.11.3

Bharat Operating System 5.x

CUPS :

1.2.4

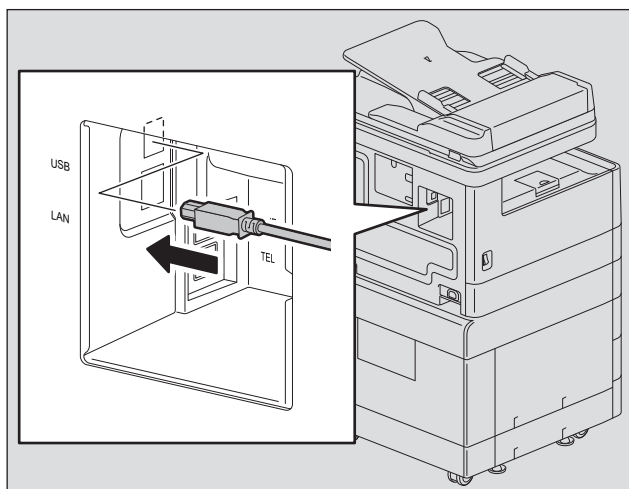
#### 導入方法

このドライバは、XPPやKPrinterなどのインターフェイスで使用するよう設計されています。このドライバを、Linux環境と同じようにOS X環境で使用することもできますが、OS X環境での使用は推奨していません。

接続環境にはUSB接続またはネットワーク接続をご利用できます。

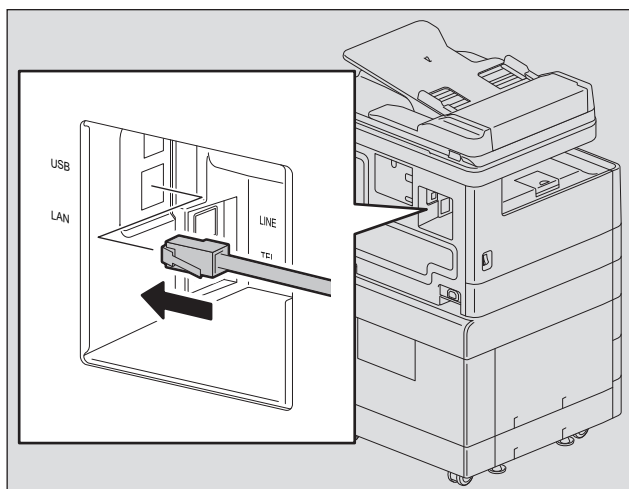
### ■ USB接続

ドライバをインストールする前に、本機とコンピュータをUSBケーブルで接続し、電源を入れてください。



### ■ ネットワーク接続

ドライバをインストールする前に、本機をネットワーク環境に接続し、電源を入れてください。





# Windowsでのインストール

Windows環境でのインストール方法について説明します。

<b>Windowsにドライバをインストールする</b> .....	<b>14</b>
インストーラを使ってドライバをインストールする .....	14
プラグアンドプレイを使ってドライバをインストールする .....	17
<b>Windowsからドライバをアンインストールする</b> .....	<b>20</b>
プリンタドライバ・スキャナドライバをアンインストールする .....	20
e-STUDIO Scan Editorをアンインストールする .....	21
N/W-Faxドライバをアンインストールする .....	24

## Windowsにドライバをインストールする

---

ここでは、Windowsにプリンタドライバ、スキャナドライバ、およびN/W-Faxドライバをインストールする方法を説明します。ドライバのインストールには、管理者権限が必要です。

インストーラまたはWindowsのプラグアンドプレイ機能を使ってドライバをインストールします。

📖 P.14 「インストーラを使ってドライバをインストールする」

📖 P.17 「プラグアンドプレイを使ってドライバをインストールする」

### 注意

- ドライバをインストールする前に、アンチウイルスプログラムなどのすべてのアプリケーションを終了させてください。
- Windows 7 / Windows 8.1 / Windows 10 / Windows Server 2008 R2 / Windows Server 2012 / Windows Server 2016にインストールする場合は、インストーラを使用してください。プラグアンドプレイではインストールできません。  
📖 P.14 「インストーラを使ってドライバをインストールする」
- Windows Server 2008またはWindows Server 2012をお使いの場合は、スキャナドライバをインストールする前に、[管理ツール]の[サーバーマネージャー]から[デスクトップエクスペリエンス]をインストールしてください。

## ■ インストーラを使ってドライバをインストールする

- 1 本機の電源がオンになっていることを確認します。
- 2 Client Utilities/User Documentation DVDをコンピュータに挿入します。
  - インストーラが自動的に起動し、インストール画面が表示されます。
  - インストーラが自動的に起動しない場合は、DVD内の [Drivers] フォルダを開き、「Setup.exe」をダブルクリックしてください。
- 3 [使用許諾契約の全条項に同意します。] を選択し、[次へ] をクリックします。
- 4 [USB接続] または [ネットワーク接続] のいずれかを選択して、[次へ] をクリックします。
- 5 本機との接続を確認し、[次へ] をクリックします。  
[USB接続]を選択した場合は、手順7に進んでください。

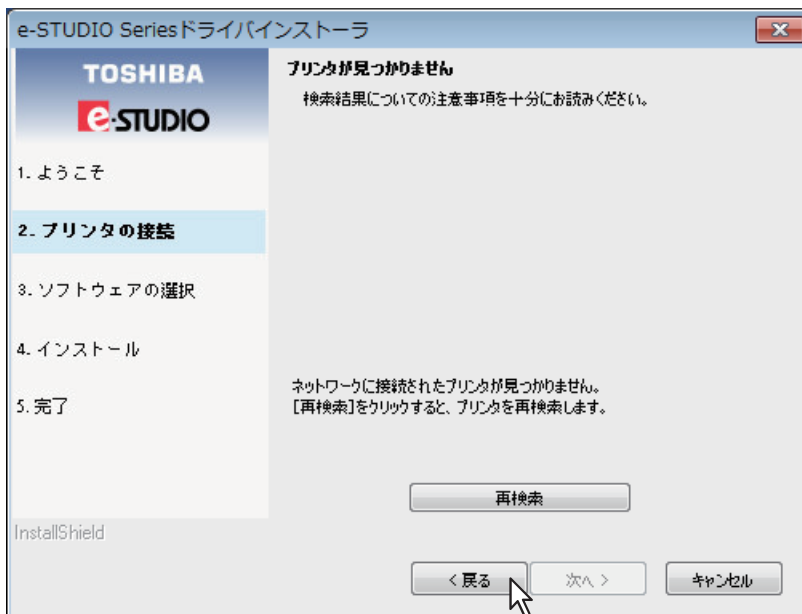


6 検出されたプリンタが表示されるので、本機を選択し [次へ] をクリックします。

**注意**

本機がネットワークから検出できない場合は、以下の手順に従ってIPアドレスを手動で設定してください。本機のIPアドレスについては、ユーザーガイド 第6章「各種機能一覧 - ネットワークメニュー一覧 - TCP/IPの設定」を参照してください。

1. [戻る] をクリックします。



2. [プリンタのIPアドレスを手動で設定する場合には選択してください。] を選択して、[次へ] をクリックします。



3. [ネットワークプリンタのIPアドレスに対応したホスト名を指定してください。] の下にIPアドレスを入力して、[次へ] をクリックします。



**7** インストールするソフトウェアを確認し、[次へ] をクリックします。

**8** インストールが完了したら、[完了] をクリックします。

つづけてe-STUDIO Scan Editorをインストールする場合は、DVD内の [Application] フォルダ→ [e-STUDIO Scan Editor] フォルダを開き、eSScanSetup.exeをダブルクリックして、画面の指示に従ってインストールしてください。インストールしたら、DVDをコンピュータから取り出します。

#### 補 足

コンピュータの再起動を促されたときは [はい、今すぐコンピュータを再起動します。] を選択し、コンピュータを再起動します。

## ■ プラグアンドプレイを使ってドライバをインストールする

Windows Vista / Windows Server 2008コンピュータと本機をUSBケーブルで接続して、プラグアンドプレイを使うときは、スキャナドライバをインストールしてからプリンタドライバをインストールします。

### 注意

Windows 7 / Windows 8.1 / Windows 10 / Windows Server 2008 R2 / Windows Server 2012 / Windows Server 2016にインストールする場合は、インストーラを使用してください。プラグアンドプレイではインストールできません。

📖 P.14 「インストーラを使ってドライバをインストールする」

### 補足

プリンタの追加ウィザードを使ってもプリンタドライバをインストールできます。プリンタの追加ウィザードを使う場合は、[プリンタポートの選択] で本機が接続されているUSBポートまたはネットワークポートを選択してください。

## 1 USBケーブルを使って本機とコンピュータを接続してからコンピュータを起動します。

### 注意

コンピュータの起動中はUSBケーブルの抜き差しをしないでください。

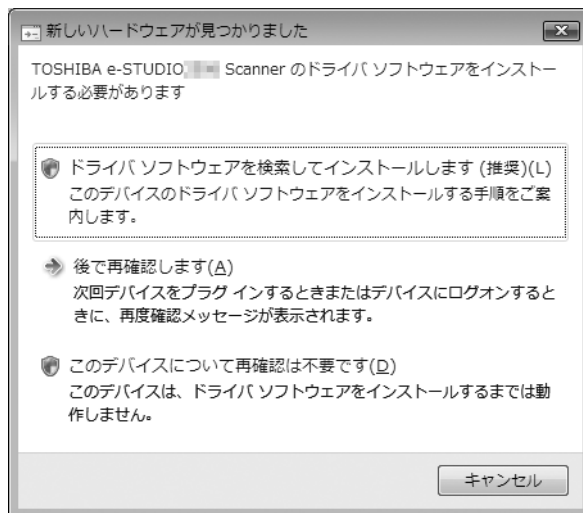
## 2 本機の電源を入れます。

新しいハードウェアの検出ダイアログボックスが表示されます。

表示されないときは、本機の電源を切って10秒ほど待ち、再度電源を入れてください。電源を切ってからすぐに入れ直すと、正常に機能しないことがあります。

## 3 [ドライバソフトウェアを検索してインストールします (推奨)] をクリックします。

ディスク (Client Utilities/User Documentation DVD) の挿入を促すメッセージが表示されます。



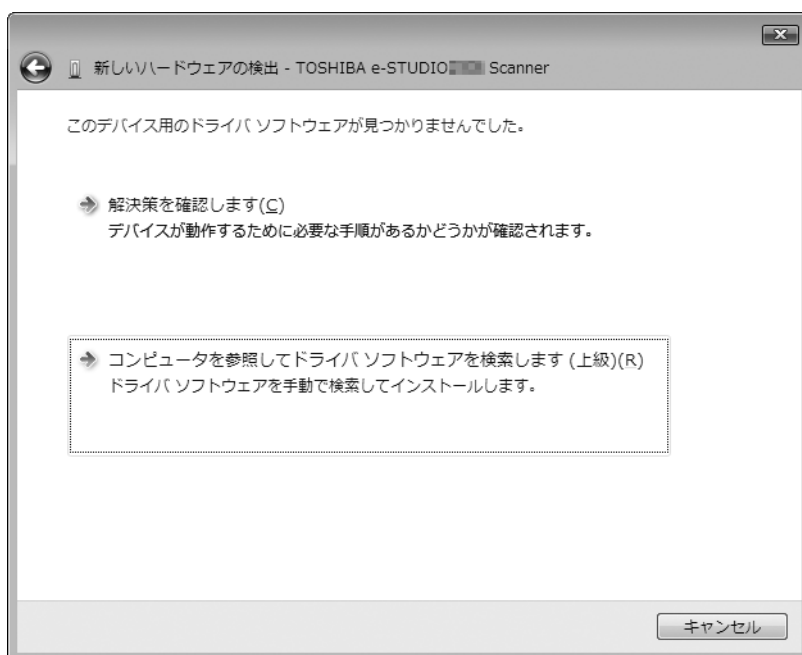
ユーザーアカウント制御ダイアログボックスが表示された場合は、[許可] または [続行] をクリックしてください。

#### 4 [ディスクはありません。他の方法を試します] をクリックします。



#### 5 Client Utilities/User Documentation DVDをコンピュータに挿入します。

#### 6 [コンピュータを参照してドライバソフトウェアを検索します (上級)] をクリックします。



#### 7 ドライバが入っているDVDのフォルダを選択して、[OK] をクリックします。

お使いの言語およびOSに合わせてフォルダを選択します。

例) 32ビットの日本語版OSをお使いのときは、「ドライブ名: ¥ Drivers ¥ e-STUDIO2309A ¥ Driver ¥ Japanese ¥ i386」を選択します。

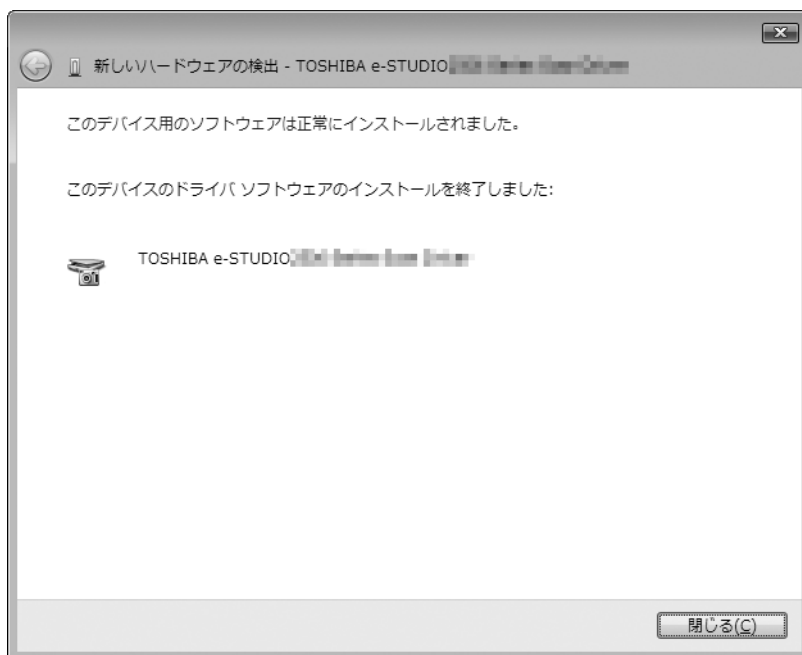
## 8 [次へ] をクリックします。

Windowsセキュリティダイアログボックスが表示されたときは、[このドライバソフトウェアをインストールします] をクリックします。

### 注意

デバイスソフトウェアのインストールを確認するメッセージが表示される場合は、[インストール] など発行元を信頼する選択肢を選んでインストールを進めてください。

## 9 インストールが完了したら、[閉じる] をクリックします。



新しいハードウェアの検出ダイアログボックスが再度表示され、プリンタドライバのインストールが始まります。

## 10 手順4から9を繰り返して、プリンタドライバをインストールします。

## 11 インストールが完了したら、インストールされたプリンタのアイコンが [プリンタ] フォルダに表示されていることを確認します。

## 12 DVDをコンピュータから取り出します。

## Windowsからドライバをアンインストールする

---

ここでは、プリンタドライバ、スキャナドライバ、e-STUDIO Scan Editor、およびN/W-Faxドライバのアンインストール方法を説明します。ドライバのアンインストールには、管理者権限が必要です。

### ■ プリンタドライバ・スキャナドライバをアンインストールする

プリンタドライバ・スキャナドライバをアンインストールする場合は、以下の手順で行います。

#### 注意


- アンインストールを実行するためには、管理者権限のユーザでWindowsへログオンしてください。ただし、管理者権限以外のユーザでログオンしている場合でも、[ユーザーアカウント制御] ダイアログボックスが表示された際に管理者のパスワードを入力すれば、一時的にユーザアカウントを変更してアンインストールを実行することができます。
- 管理者権限のユーザでWindowsにログオンした場合にも [ユーザーアカウント制御] ダイアログボックスが表示される場合があります。この場合は、[続行] などの操作を許可するボタンをクリックし、操作を続けてください。

#### 1 [スタート] → [コントロールパネル] を選択し、[プログラムのアンインストール] をクリックします。

#### 補足

Windows 8.1 / Windows 10 / Windows Server 2012 R2 / Windows Server 2016の場合、[スタート] を右クリックし、[コントロールパネル] > [プログラムのアンインストール] をクリックします。

Windows Server 2012での [プログラムのアンインストールまたは変更] 画面の表示方法は、以下のページを参照してください。

 P.22 「Windows Server 2012で [プログラムのアンインストールまたは変更] 画面を表示する」

#### 2 アンインストールするドライバを選択し、[アンインストール] をクリックします。

#### 3 [はい] をクリックします。

## ■ e-STUDIO Scan Editorをアンインストールする

Windows Vista / Windows 7 / Windows 8.1 / Windows 10 / Windows Server 2008 / Windows Server 2012 / Windows Server 2016からe-STUDIO Scan Editorをアンインストールします。

### 注意

クライアントソフトウェアを削除するためには、管理者権限のユーザでWindowsへログオンしてください。ただし、管理者権限以外のユーザでログオンしている場合でも、[ユーザーアカウント制御] ダイアログボックスが表示された際に管理者のパスワードを入力すれば、一時的にユーザアカウントを変更して操作を実行することができます。

- 1 [スタート] → [コントロールパネル] を選択し、[プログラムのアンインストール] をクリックします。



[プログラムのアンインストールまたは変更] ダイアログボックスが表示されます。

### 補足

Windows 8.1 / Windows 10 / Windows Server 2012 R2 / Windows Server 2016の場合、[スタート] を右クリックし、[コントロールパネル] > [プログラムのアンインストール] をクリックします。

Windows Server 2012での [プログラムのアンインストールまたは変更] 画面の表示方法は、以下のページを参照してください。

📖 P.22 「Windows Server 2012で [プログラムのアンインストールまたは変更] 画面を表示する」

- 2 [e-STUDIO Scan Editor] を選択し、[アンインストール] をクリックします。
- 3 [はい] をクリックします。
- 4 設定ファイルを削除する場合は、[はい] をクリックします。  
ファイルの削除を開始します。

### 注意

[いいえ] をクリックした場合は、設定情報は削除されず残り、次回のインストール時に引き継がれます。

## □ Windows Server 2012で【プログラムのアンインストールまたは変更】画面を表示する

Windows Server 2012をお使いの場合は、以下の手順で【プログラムのアンインストールまたは変更】画面を表示します。

### 補 足

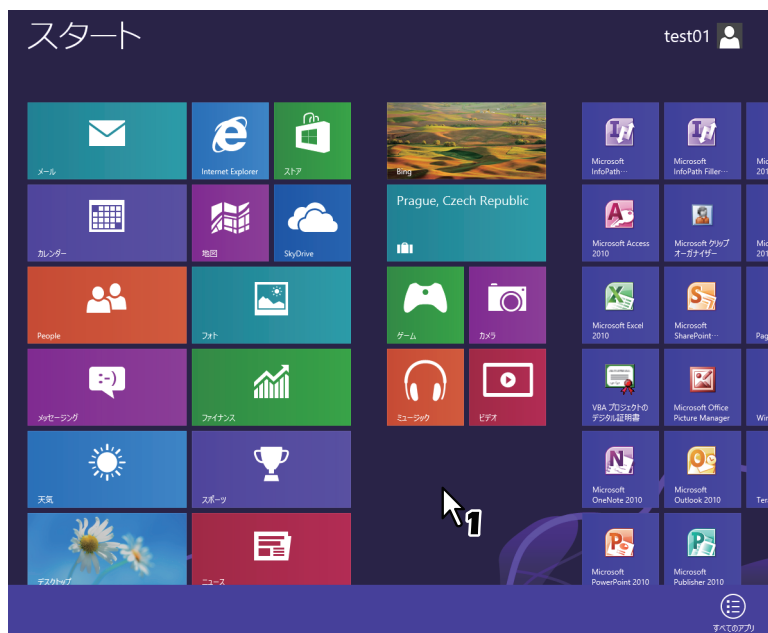
プリンタドライバやN/W-Faxドライバのアンインストールする際には、手順4で【デバイスとプリンター】フォルダを開いてください。

- 1 カーソルを画面の右上隅または右下隅に移動させ、表示メニューから【スタート】を選択します。



【スタート】画面が表示されます。

- 2 【スタート】画面の空白エリアを右クリックし、表示された【すべてのアプリ】をクリックします。



【アプリ】画面が表示されます。



### 3 [コントロールパネル] をクリックします。



[すべてのコントロールパネル項目] 画面が表示されます。

### 4 [プログラムと機能] をクリックします。



[プログラムのアンインストールまたは変更] 画面が表示されます。

---

## ■ N/W-Faxドライバをアンインストールする

N/W-Faxドライバのアンインストール手順は、プリンタドライバのアンインストールを行うときと同様ですので、ここでは説明を省略しています。アンインストールを行う際は、以下の項目を参照してください。

📖 P.20 「プリンタドライバ・スキャナドライバをアンインストールする」

## Mac OS Xでのインストール

Mac OS X環境でのインストール方法について説明します。

<b>Mac OS Xにプリンタをインストールする</b> .....	<b>26</b>
PPDファイルをインストールする .....	26
プリンタを設定する .....	29
<b>Mac OS Xからプリンタをアンインストールする</b> .....	<b>35</b>

## Mac OS Xにプリンタをインストールする

Mac OS Xでプリンタをセットアップする場合は、以下の手順で行います。

📖 P.26 「PPDファイルをインストールする」

📖 P.29 「プリンタを設定する」

### ■ PPDファイルをインストールする

ここでは、Mac OS X 10.10.xの画面を例に、Mac OS XへのPPDファイルのインストール手順を説明します。

#### 注意

Mac OS X のバージョンによっては、手順や表示される画面が異なる場合があります。Mac OS X 10.6.x～10.9.x、10.11.x、10.12.xをお使いの場合は、Mac OS X 10.10.xでの以下の手順を参考にインストールしてください。

- 1 インストールディスクをコンピュータのディスクドライブにセットします。
- 2 [MacPPD] フォルダを開き、ZIPファイルをデスクトップにコピーします。
- 3 デスクトップにコピーしたZIPファイルをダブルクリックします。
- 4 ディスクイメージファイルをダブルクリックします。
- 5 インストーラウィンドウのアイコンをダブルクリックします

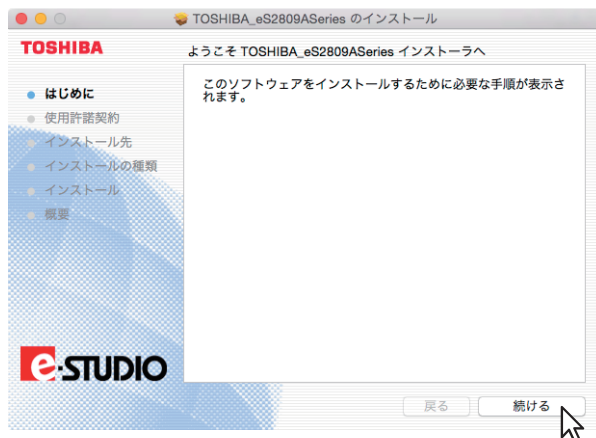


TOSHIBA\_eS2809ASeries.  
pkg

#### 注意

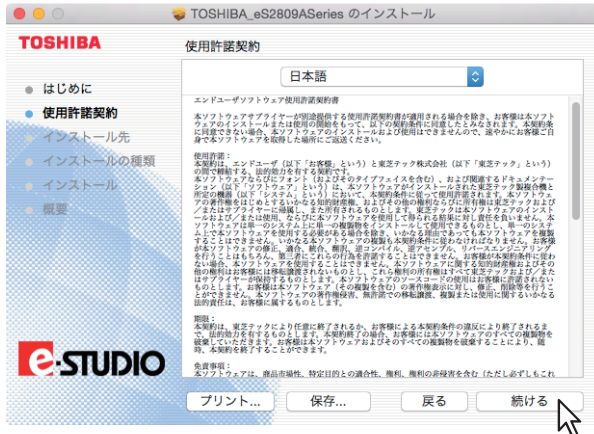
インストーラを起動する際には、Mac OS Xのプリンタセットアップユーティリティが動作していないことを確認してください。プリンタセットアップユーティリティの動作中にPPDファイルをインストールすると、プリンタが正常に認識されないことがあります。

- 6 [続ける] をクリックします。

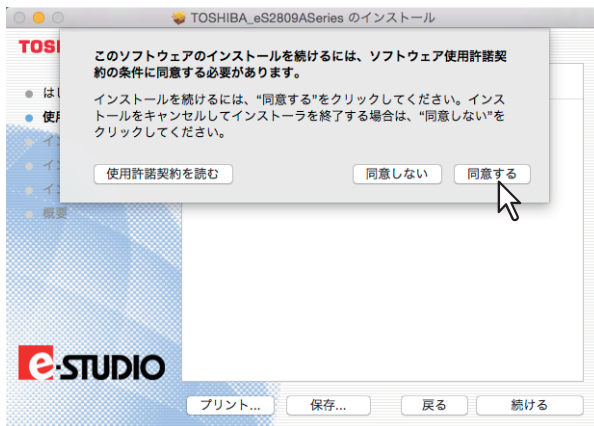


[使用許諾契約] ウィンドウが表示されます。

## 7 [続ける] をクリックします。



## 8 [同意する] をクリックします。

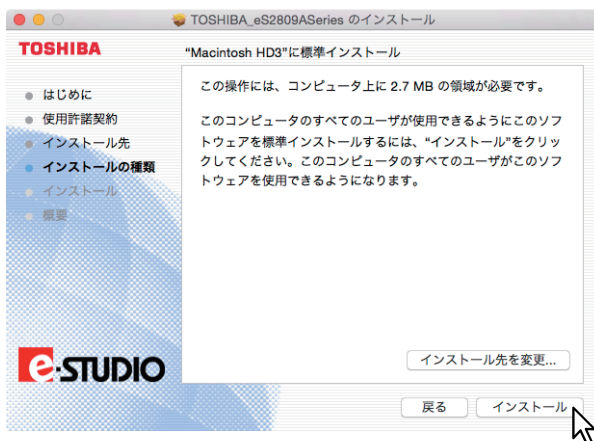


[標準インストール] ウィンドウが表示されます。

### 注意

以降の手順はお使いのMac OS Xのバージョンによって異なるため、表示される順番が異なる場合があります。

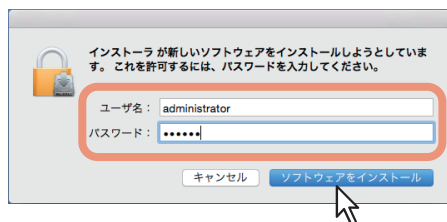
## 9 [インストール] (または [アップグレード]) をクリックします。



### 補足

[インストール先を変更] をクリックすると、[インストール先の選択] ダイアログボックスが表示されますので、Mac OS Xの起動ディスクを選択し、[続ける] をクリックしてください。

10 名前（管理者名）とパスワードを入力し、[OK] をクリックします。



11 [閉じる] をクリックします。



12 ZIPファイルや解凍されたインストーラファイルをデスクトップから削除します。

13 引き続きプリンタ設定を行います。

📖 P.29 「プリンタを設定する」

## ■ プリンタを設定する

PPDファイルのインストールを完了したらプリンタを設定します。  
以下の印刷方法を利用することができます。

- LPR印刷  
📖 P.29 「LPR印刷」
- IPP印刷  
📖 P.32 「IPP印刷」
- USB印刷  
📖 P.34 「USB印刷」

### 補足

LPR印刷とIPP印刷は、本機とお使いのコンピュータがTCP/IPネットワークで接続されている場合に有効です。

## □ LPR印刷

ここでは、Mac OS X 10.10.xの画面を例に説明します。

### 補足

- Mac OS X 10.7.x~10.9.x、10.11.x、10.12.xをお使いの場合は、Mac OS X 10.10.xと同様の手順で設定してください。
- Mac OS X 10.6.xをお使いの場合は、[システム環境設定] から [プリントとファクス] を開き、以下の手順を参考に設定してください。

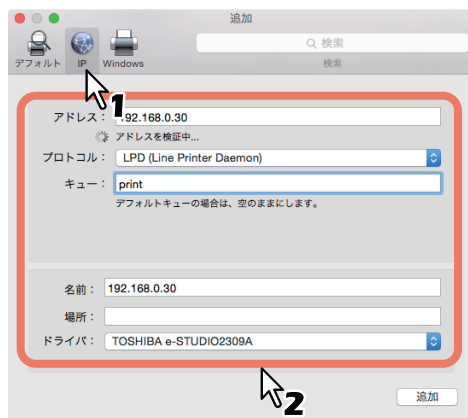
- 1 [システム環境設定] を起動して、[プリントとスキャン] (Mac OS X 10.7.x、10.8.x) または [プリンタとスキャナ] (Mac OS X 10.9.x、10.10.x、10.11.x、10.12.x) をクリックします。



## 2 [+ ] をクリックします。



## 3 [IP] をクリックし、各項目を設定します。



アドレス： <IPアドレスまたはDNS名>  
プロトコル： LPD (Line Printer Daemon)  
キュー： print  
名前： <任意名>  
場所： <任意>  
ドライバ： TOSHIBA e-STUDIO2309A

### 補足

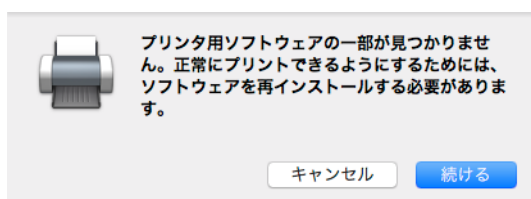
- [名前] ボックスには、[アドレス] ボックスに入力した値が自動的に表示されます。
- [アドレス] ボックスにIPアドレスまたはDNS名を入力しても、[ドライバ] に正しい名前が選択されない場合があります。[ドライバ] で [その他] を選択し、[/ライブラリ/Printers/PPDs/Contents/Resources/en.lproj] フォルダからPPDファイル (EST2309A.ppd) を選択してください。

## 4 [追加] をクリックします。

[インストール可能なオプション] 画面が表示されます。

### 補足

以下の画面が表示された場合は、[続ける] をクリックしてプリンタの設定を続行してください。





**5 お使いの環境に合わせてオプション機器を選択します。**

**2段目カセット**：2段目カセットを装着している場合に選択します。

**カセット2、3**：2段目カセットおよび3段目カセットを装着している場合に選択します。

**カセット2、3、4**：2段目カセット、3段目カセット、および4段目カセットを装着している場合に選択します。

**自動両面ユニット**：本機を使用する場合はチェックボックスをオンにします。

**6 [OK] をクリックします。**

本機がプリンタリストに追加されます。

## □ IPP印刷

ここでは、Mac OS X 10.10.xの画面を例に説明します。

### 補 足

- Mac OS X 10.7.x～10.9.x、10.11.x、10.12.xをお使いの場合は、Mac OS X 10.10.xと同様の手順で設定してください。
- Mac OS X 10.6.xをお使いの場合は、[システム環境設定] から [プリントとファクス] を開き、以下の手順を参考に設定してください。

- 1 [システム環境設定] を起動して、[プリントとスキャン] (Mac OS X 10.7.x、10.8.x) または [プリンタとスキャナ] (Mac OS X 10.9.x、10.10.x、10.11.x、10.12.x) をクリックします。



- 2 [+] をクリックします。



### 3 [IP] をクリックし、各項目を設定します。



アドレス： <IPアドレスまたはDNS名>  
 プロトコル： IPP (Internet Printing Protocol)  
 キュー： Print  
 名前： <任意名>  
 場所： <任意>  
 ドライバ： TOSHIBA e-STUDIO2309A

#### 補足

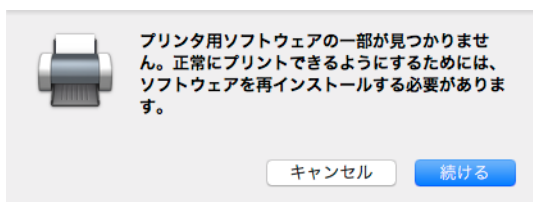
- [名前] ボックスには、[アドレス] ボックスに入力した値が自動的に表示されます。
- [アドレス] ボックスにIPアドレスまたはDNS名を入力しても、[ドライバ] に正しい名前が選択されない場合があります。[ドライバ] で [その他] を選択し、[/ライブラリ/Printers/PPDs/Contents/Resources/en.lproj] フォルダからPPDファイル (EST2309A.ppd) を選択してください。

### 4 [追加] をクリックします。

[インストール可能なオプション] 画面が表示されます。

#### 補足

以下の画面が表示された場合は、[続ける] をクリックしてプリンタの設定を続行してください。



### 5 お使いの環境に合わせてオプション機器を選択します。

**2段目カセット**：2段目カセットを装着している場合に選択します。

**カセット2、3**：2段目カセットおよび3段目カセットを装着している場合に選択します。

**カセット2、3、4**：2段目カセット、3段目カセット、および4段目カセットを装着している場合に選択します。

**自動両面ユニット**：本機を使用する場合はチェックボックスをオンにします。

### 6 [OK] をクリックします。

本機がプリンタリストに追加されます。

---

## □ USB印刷

- 1 本機とコンピュータをUSBケーブルで接続します。
- 2 [システム環境設定] > [プリンタとスキャナ] (Mac OS X 10.9.x、10.10.x、10.11.x、10.12.x) または [プリントとスキャン] (Mac OS X 10.7.x、10.8.x) > 本機のアイコン > [オプションとサプライ] > [オプション] をクリックします。
- 3 お使いの環境に合わせてオプション機器を選択します。  
2段目カセット：2段目カセットを装着している場合を選択します。  
カセット2、3：2段目カセットおよび3段目カセットを装着している場合を選択します。  
カセット2、3、4：2段目カセット、3段目カセット、および4段目カセットを装着している場合を選択します。  
自動両面ユニット：本機を使用する場合はチェックボックスをオンにします。
- 4 [OK] をクリックします。

## Mac OS Xからプリンタをアンインストールする

---

Mac OS Xからプリンタをアンインストールするには、以下のフォルダにあるPPDファイルや不要なファイルを削除してください。

- ライブラリ/Printers/PPDs/Contents/Resources/en.lproj/EST2309A.ppd
- ライブラリ/Printers/PPDs/Contents/Resources/en.lproj/EST2809A.ppd
- ライブラリ/Printers/toshiba/ES2809ASeries



# UNIX/Linuxでのインストール

UNIX/Linux環境でのインストール方法について説明します。

<b>CUPSでプリンタを設定する .....</b>	<b>38</b>
LPR印刷を設定する .....	38
IPP印刷を設定する .....	39
USB印刷を設定する .....	40
印刷オプションを設定する .....	41
<b>UNIX/Linuxからプリンタをアンインストールする .....</b>	<b>43</b>

## CUPSでプリンタを設定する

本機のPPDファイルをインストールして、LPR印刷、IPP印刷、またはUSB印刷をCUPSに設定することができます。

📖 P.38 「LPR印刷を設定する」

📖 P.39 「IPP印刷を設定する」

📖 P.40 「USB印刷を設定する」

### ■ LPR印刷を設定する

CUPSを設定するには、PPDファイルをお使いのUNIX/Linuxワークステーションにコピーして、プリンタをインストールし、PPDの設定を行います。プリンタのインストールおよびPPDの設定は、ブラウザを使って操作します。

PPDファイルの展開後にCUPS daemonをリスタートします。

- 1 インストールディスクをディスクドライブに挿入します。
- 2 ルートアカウントにログインします。
- 3 rpmコマンドでRPMパッケージをインストールします。
- 4 以下のコマンドを入力します。

```
service cups start
```

#### 注意

すでにCUPSサービスが起動している場合は、「service cups stop」コマンドを入力してCUPSサービスを停止してから、上記コマンドを入力してCUPSサービスの起動を行ってください。

- 5 ブラウザを起動し、「<http://localhost:631/>」をアドレス欄に入力してCUPSにアクセスします。

#### 補足

Red Hat Linuxをお使いの場合は、以下のコマンドを入力して、CUPSにアクセスします。

```
/usr/bin/cupsconfig
```

- 6 [Administration] タブから [Add Printer] をクリックします。  
[Admin] ページが表示されます。
- 7 「LPD/LPR Host or Printer」を選択し、[Continue] をクリックします。
- 8 [Connection] ボックスに「lpd://<IP address>/Print」と入力し、[Continue] をクリックします。

#### 注意

デバイスURIに指定するアドレスの「Print」の「P」は、必ず大文字で入力してください。

- 9 プリンタ名、詳細説明、設置場所ボックスに任意の名称を入力し、[Continue] をクリックします。

#### 注意

すでに追加されているプリンタと同名のプリンタ名を入力した場合は、既存のプリンタ設定を上書きします。

- 10 [Make] ボックスで [Toshiba] を選択し、[Continue] をクリックします。

#### 注意

[Make] ボックスに [TOSHIBA] が表示されていない場合は、CUPSを再起動してください。



- 11 [Model] ボックスで機種名を選択し、[Add Printer] をクリックします。
- 12 以下の手順へ進んで、印刷オプションの設定を行ってください。  
📖 P.41 「印刷オプションを設定する」

## ■ IPP印刷を設定する

Linux OSにIPP印刷を設定する場合は、以下の手順で行います。

- 1 インストールディスクをディスクドライブに挿入します。
- 2 ルートアカウントにログインします。
- 3 rpmコマンドでRPMパッケージをインストールします。
- 4 以下のコマンドを入力します。  
`service cups start`
- 5 ブラウザを起動し、「<http://localhost:631/>」をアドレス欄に入力してCUPSにアクセスします。

### 補足

Red Hat Linuxをお使いの場合は、以下のコマンドを入力して、「Common UNIX Printing System」ページにアクセスします。

```
/usr/bin/cupsconfig
```

- 6 [Administration] タブから [Add Printer] をクリックします。
- 7 [Internet Printing Protocol (http)] を選択し、[Continue] をクリックします。
- 8 [Connection] ボックスに「<http://<IPアドレス>:631/Print>」と入力し、[Continue] をクリックします。
- 9 プリンタ名、詳細説明、設置場所ボックスに任意の名称を入力し、[Continue] をクリックします。

### 注意

すでに追加されているプリンタと同名のプリンタ名を入力した場合は、既存のプリンタ設定を上書きします。


- 10 [Make] ボックスで [Toshiba] を選択し、[Continue] をクリックします。
- 11 [Model] ボックスで機種名を選択し、[Add Printer] をクリックします。
- 12 プリンタの追加が正常に完了したメッセージが表示されることを確認します。
- 13 引き続いて以下のセクションに進み、印刷オプションの設定を行います。  
📖 P.41 「印刷オプションを設定する」

---

## ■ USB印刷を設定する

USB印刷を設定する場合は、以下の手順で行います。

- 1 インストールディスクをディスクドライブに挿入します。
- 2 ルートアカウントにログインします。
- 3 rpmコマンドでRPMパッケージをインストールします。
- 4 以下のコマンドを入力します。

```
service cups start
```
- 5 本機とコンピュータをUSBケーブルで接続します。
- 6 引き続き以下のセクションに進み、印刷オプションの設定を行います。  
 P.41 「印刷オプションを設定する」

## ■ 印刷オプションを設定する

CUPSを使用した印刷ジョブに適用される印刷オプションの設定を行います。

- 1 [Administration] タブから [Manage Printers] リンクをクリックします。
- 2 本機を選択し、[Set Default Options] をクリックします。
- 3 表示されたページで、印刷オプションの設定を行います。
  - 画面は英文で表示されます。
  - アンダーラインの付いたオプションはデフォルト値を示しています。

### Installed Options (オプション設定)

項目	選択肢	説明
Drawers カセット	<u>Not Installed</u> Drawer 2 Drawer 2 and 3 Drawer 2,3 and 4	オプションの給紙カセットの組み合わせを選択します。
ADU 自動両面ユニット	<u>Installed</u> Not Installed	自動両面ユニットが装着されているかを設定します。
[Set Default Options] ボタン	上記の選択値を確定します。	

### General (一般設定)

項目	選択肢	説明
Media Size 用紙サイズ	A3, A4, A5, J Post Card, B4, B5, Folio, <u>Letter</u> , Ledger, Legal, Statement, Computer, 13" LG, 8.5" SQ, 8K, 16K, Env DL, Env Cho-3, Env You-4, Env-Com10, Env-Monarch, Env-C4, Env-C5	用紙サイズを選択します。
Media Source 給紙元	<u>Auto (Default)</u> Drawer 1 Drawer 2 Drawer 3 Drawer 4 Bypass Tray	給紙元を選択します。
Media Type 用紙タイプ	Printer's Default <u>Plain Paper</u> Thick Thick 1 Thick 2 Transparency Thin Envelope	用紙タイプを選択します。
Duplex 両面印刷、とじしろ	<u>Off</u>	片面印刷
	Long Edge (Standard)	両面印刷 (長手綴じ)
	Short Edge (Flip)	両面印刷 (短手綴じ)
[Set Default Options] ボタン	上記の選択値を確定します。	

### Printing Modes (印刷種別)

項目	選択肢	説明
Department Code 部門コード	<u>Disabled</u> (無効) Enabled (有効)	印刷の際に部門コードを使用するかを選択します。 本機が部門コードで管理されている場合に、このオプションを有効にします。
Distinguish Thin Lines 細線をはっきりと印刷する	On, <u>Off</u>	細線を判別するか選択します。
Do not Print Blank Pages 白紙は印字しない	On, <u>Off</u>	白紙ページを印刷するか選択します。
[Set Default Options] ボタン	上記の選択値を確定します。	

### Printing Modes DC (部門コード)

項目	選択肢	説明
Department Code(DC) - Digit 1 to Digit 5 部門コード 1桁目~5桁目	<u>0</u> to 9	上記Printing ModesのDepartment Codeを有効にした場合は、5桁の部門コードを指定します。 使用する部門コードについては、管理者にお問い合わせください。
[Set Default Options] ボタン	上記の選択値を確定します。	

### Quality

項目	選択肢	説明
Halftone ハーフトーン	<u>Detail</u> Smooth	ハーフトーンをどのように印刷するかを設定します。
Smoothing スムージング	On, <u>Off</u>	テキストやグラフィックスをなめらかに印刷するかどうかを設定します。
Toner Save トナー節約	On, <u>Off</u>	トナーを節約して印刷するかを選択します。
[Set Default Options] ボタン	上記の選択値を確定します。	

追加したプリンタを削除する場合は、以下の手順で行います。

- 1 スタートページの **[Manage Printers]** リンクをクリックします。  
[Printer] ページが表示されます。
- 2 機種名を選択して、**[Delete Printer]** を選択します。
- 3 **[Delete Printer]** をクリックします。
- 4 rpmコマンドでインストールされているRPMパッケージをアンインストールします。



# 索引

---

## C

Client Utilities/User Documentation DVD Windows .....	8
CUPSプリンタドライバ UNIX/Linux .....	10

## E

e-STUDIO Scan Editor Windows .....	8
---------------------------------------	---

## I

IPPE印刷 Mac OS X .....	32
UNIX/Linux .....	39

## L

LPRE印刷 Mac OS X .....	29
UNIX/Linux .....	38

## N

N/W-Faxドライバ Windows .....	8
------------------------------	---

## P

PostScriptプリンタ記述ファイル Mac OS X .....	9
PPDファイル Mac OS X .....	9
UNIX/Linux .....	10

## U

USB印刷 Mac OS X .....	34
UNIX/Linux .....	40
USB接続 .....	11

## あ

アンインストール Mac OS X .....	35
UNIX/Linux .....	43
Windows .....	20

## い

印刷オプション UNIX/Linux .....	41
インストーラ Windows .....	14
インストール Mac OS X .....	26
UNIX/Linux .....	38
Windows .....	14

## し

システム要件 Windows .....	8
Mac OS X .....	9
UNIX/Linux .....	10

## す

スキャナドライバ Windows .....	8
---------------------------	---

## ね

ネットワーク接続 .....	11
----------------	----

## ふ

プラグアンドプレイ Windows .....	17
プリンタドライバ Windows .....	8







東芝デジタル複合機  
インストールガイド

**e**·STUDIO2309A

東芝テック株式会社

